







2. 「生きることの包括的支援」の考え方、理念、枠組み

○多くの命の犠牲の上に獲得された「生きる支援」という理念・武器

平成 18 年自殺対策基本法、平成 29 年自殺総合対策大綱

○生きることの阻害要因を減らし、促進要因を増やす

○我が国の自殺対策の特徴：三階層自殺対策連動モデル（TIS モデル）

社会制度、地域連携、対人支援の 3 つのレベルの有機的連動による、総合的な自殺対策の推進

○誰も自殺に追い込まれることのない「生き心地のよい社会」を目指す

効果的で効率的な方法は、地域自殺対策計画における基本施策の着実な実践であり、「一発逆転ホームラン」はない。「地域におけるネットワークの強化」、「自殺対策を支える人材の育成」、「住民への啓発と周知」「生きることの促進要因への支援」、「児童生徒の SOS の出し方に関する教育」を実施。

3. 地域において「生きることの包括的支援」をどのように実践すべきか

○自殺対策は、地域づくりの絶好の切り口になる

○自殺の問題に対応できれば他の様々な問題にも対応できるはず

○連携できるか否かで、地域住民の命を守れるか否かが決まる

○「誰かのため」が「自分のため」になる、お互い様の社会へ

最後に、清水氏は「自殺は様々な社会問題が最も深刻化した末に起きており、自殺に対応できる地域の取り組み・チカラは、他のあらゆる社会問題に対しても有効に機能すること、これまで点で散在していた地域の相談機関や専門家を当事者のニーズに応じつなぎ線にし、さらに線を紡いで面としたセーフティネットの構築が地域づくりの絶好の切り口となること」と話されました。

本研修について、JSCP によると、「自殺対策は『生きることの包括的支援』として幅広い分野・領域と連携しながら、自殺に追い込まれることのない地域づくりとして推進するものです。

『生きることの包括的支援のための基礎研修』は 2021 年度中に全 6 回（テーマ別）の開催を予定しており、地域で『生きることの包括的支援』として自殺対策を推進するために必要な『事業企画の立案』や『支援技術の理解』に役立てていただくことを目的」としています。2 回目以降の研修では、様々な現場で「生きることの包括的支援」に取り組む方々から、地域での実践をご報告いただく予定とのことでしたので、今後も実りの多い研修会となることを期待したいと思います。

【3】お知らせ.....

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日祝日（12月29日～1月3日を除く） 10:00～16:00

Tel : 0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ ホームページをご覧ください

北海道地域自殺対策推進センターのホームページを開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。また、Andante のバックナンバーへのリンクもございますので是非ご覧ください。

ホームページ URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

◇ メールマガジンのご登録内容の変更や解約手続きにつきましては、以下のリンクから行っていただけます。

北海道のメールマガジン URL : <http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

#### 【4】編集後記.....

北海道では、もうすっかり木々の葉は落ち、すっかり冬仕様となっていますが、毎年この様子を見ると、ふとオー・ヘンリーの「最後の葉」のお話を思いだし、もの悲しさと暖かさを感じさせられます。

さて、自殺に関する話題ですが、厚生労働省の自殺対策のホームページに『令和3年版自殺対策白書』が掲載されました。今回は、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下の自殺の動向」なども特集されていますので、興味のある方は是非御一読下さい。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.150 は、令和3年12月末に配信予定です。

\*ご質問、ご要望等お問い合わせ先\*

北海道立精神保健福祉センター  
札幌市白石区本通16丁目北6番34号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail [hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp)